

庁議報告事項

開催日：平成27年6月15日(月)

1 市長から

- 人口減少問題を克服するために、地方移住の気運を醸成し、地方への新たな人の流れを作ることに向け、平成27年5月27日に、「そうだ、地方で暮らそう！」国民会議が立ち上げられた。24人の委員の中に、高知大学の受田副学長と、漫画「釣りバカ日誌」の主人公のモデルとなった、南国生活技術研究所の黒笹代表の2名が参加をしており、高知の特色を活かした提言もいただいているので、動向を注視すること。
- 会津若松市では、ICTの活用を柱とした総合戦略を本年4月に策定している。ICTの専門大学である会津大学や、地元のICT企業と連携し、ビッグデータの解析拠点や、アメリカの大型データセンターを誘致する「福島データバレー構想」を進めており、会津若松らしさが出ている。本市の総合戦略についても、高知らしさを出していくこと。(詳細は資料に沿って説明)
- 6月議会が始まるが、現在国会で審議中の安全保障関連11法案について、質問も想定されることから、法案の内容等については、十分理解しておくこと。(詳細は資料に沿って説明)
- 平成27年6月10日に、全国市長会より「少子化対策・子育て支援に関する特別提言案」が示された。医療や教育については、ナショナルミニマムとして国が責任を持って取り組むべきとした提言で、多岐に渡っているので、関連部局は、十分内容を把握しておくこと。(詳細は資料に沿って説明)

2 吉岡副市長から

- 6月18日に6月定例会が開会するが、県議会は6月26日開会予定である。新図書館など、県市連携で取り組んでいる事業に関する質問については、市議会が先に答弁することとなるので、県とは十分な調整を行うこと。
- 選挙後、初の定例会となることから、新たな視点で質問を受けることも想定される。懸案事項について整理を行うとともに、特に3月定例会以降、新聞紙上で取り上げられた課題等については、対応できるよう準備をしておくこと。

3 各部局から

○ 報告事項

- ・平成27年度高知市災害対策(水防)本部要員への研修の実施について(口頭：防災対策部)
- ・6月定例会における服装について(口頭：財務部)
- ・庁舎等の一斉消灯(ライトダウン)について(環境部)
- ・水のふるさとフェスティバル実施報告書 速報版について(上下水道局)
- ・第65回高知市夏季大学の開催について(教育委員会)

○委員会審議状況報告

- ・行財政改革・新庁舎整備調査特別委員会(総務部)
- ・都市再生調査特別委員会(総務部、市民協働部、商工観光部)